

厚生労働省北海道労働局発表
平成27年11月17日

【担当】

北海道労働局労働基準部安全課
課長 山谷 幸雄
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

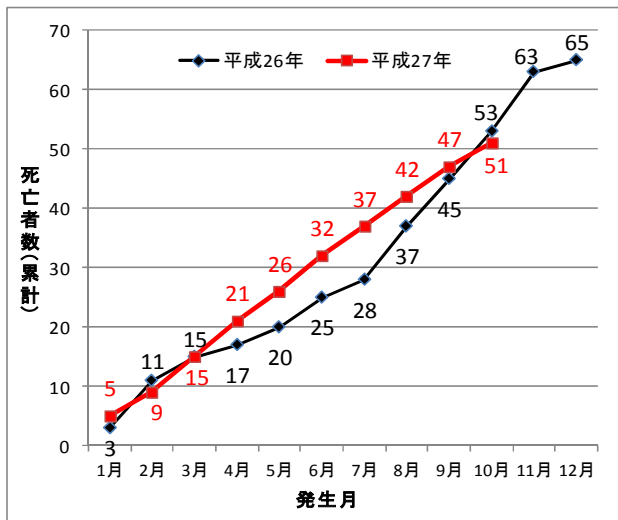
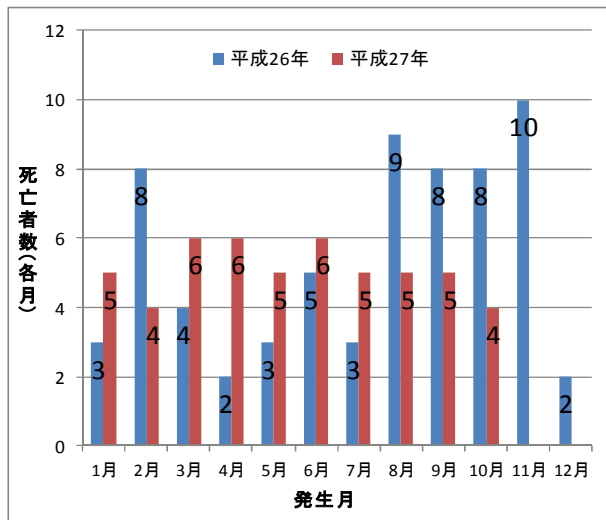
死亡労働災害は前年同期比2人減少と本年度初めて対前年比で減少

死傷労働災害は前年同期比2.5%減少

— 北海道内の労働災害発生状況（平成27年10月末現在速報値） —

1 労働災害による死亡者数（1月～10月）

道内の労働災害による死亡者数は、平成27年10月末現在で51人と、前年同期と比べ2人の減少となっています。



（1）業種別の状況【資料3、4】

業種別に見ると、「建設業」が23人（全体の45.1%、前年同期比6人増、前年1年間22人を1名超）と最も多く、「陸上貨物運送事業」が5人（全体の9.8%、前年同期と同数）、「製造業」と「卸売業又は小売業」が各4人（各全体の7.8%、「製造業」は前年同期と同数、「卸売業又は小売業」は前年同期比5人減）、「林業」が3人（全体の5.9%、前年同期と同数）、「港湾運送業」が1人の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が14人（全体の27.5%）と最も多く、次いで、「交通事故（道路）」が9人（全体の17.6%）、「はさまれ・巻き込まれ」、「崩壊・倒壊」が各6人（各全体の11.8%）と続き、この4種類の災害で全体の68.6%を占めています。

2 労働災害による死傷者数（1月～10月）

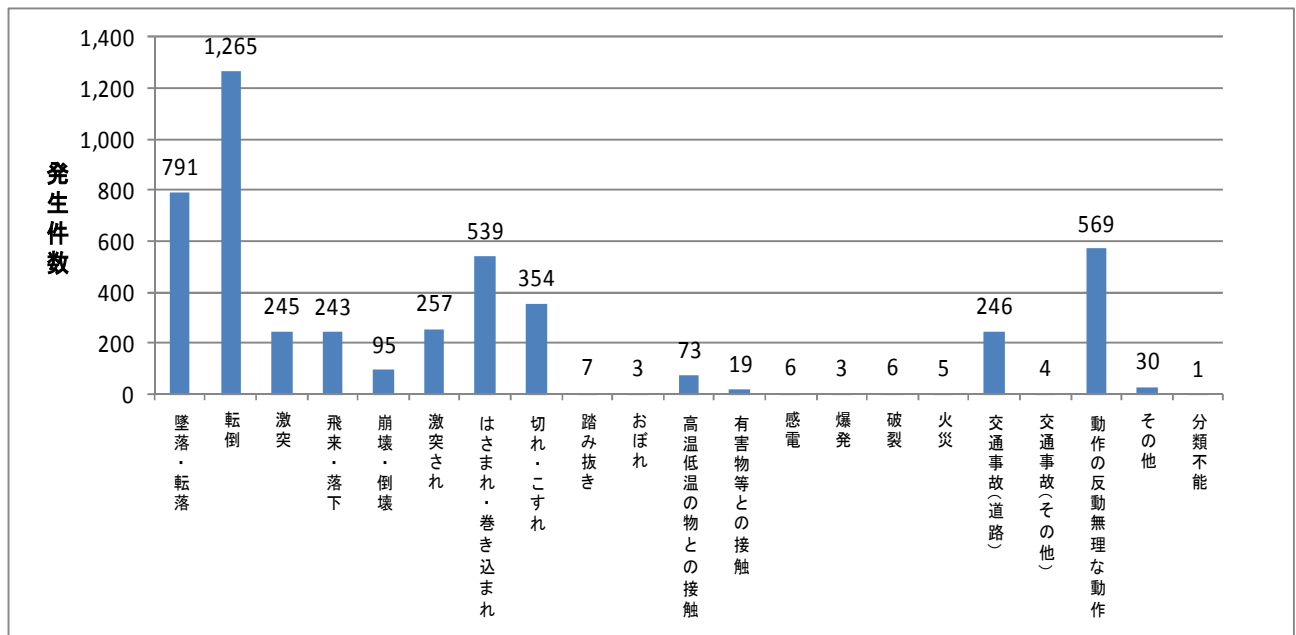
道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成27年10月末現在で、4,761人と、前年同期比123人減（2.5%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が880人（全体の18.5%、前年同期比26人増）と最も多く、次いで「建設業」が729人（全体の15.3%、前年比36人減）、「商業」が664人（全体の13.9%、前年同期比23人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が551人（全体の11.6%、前年同期比89人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が1,265人（全体の26.6%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が791人（全体の16.6%）、「動作の反動・無理な動作」が569人（全体の12.0%）、「はさまれ、巻き込まれ」が539人（全体の11.3%）となっています。



3 北海道労働局の対応

北海道労働局では、冬季に増加が予想される**転倒災害**の防止を図るため、平成27年12月1日～平成28年3月31日を取組期間とする「**北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動**」を展開します。取組期間中はリーフレットを職場に掲示し、転倒災害ゼロを達成した月はリーフレットのキャラクターであるテントウ虫の「てんとう防止君」が持っているクローバーの葉を緑色に塗りつぶし、「咲かせよう安全のクローバー」を合言葉に、すべての葉が緑色になるよう実施要領の「運動の5 Action」を基本に取り組みます。

本運動について、関係する労働災害防止団体、業界団体に対して、会員事業場への取組みの周知啓発を要請しています。

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成27年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成27年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 5 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 6 死亡労働災害の概要（前月把握分）

（リーフレット）

「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」